

「農業機械の省エネ性能に関する研究会（第1回）」議事概要

- 1 日 時：平成20年7月9日（水）10:00～11:50
- 2 場 所：農林水産省生産局第1会議室
- 3 出席者：別紙のとおり。
- 4 概 要：
 - (1) 議事に先立って検討会の座長に笹尾委員が選出された。その後、議題に沿って行われた事務局からの資料説明に続けて、意見交換が行われた。出席委員等の主な意見は以下のとおり。

【研究会における当面の検討対象について】

- ① ユーザーへの情報提供の対象とする分類
 - 複合作業機など作業工程の省略化により省エネ性を発揮できる「生産工程省力型農業機械」に関する情報提供は難しい面があるかもしれないが、本研究会の検討対象として今の段階で除外することもないのではないか。
 - 「代替燃料対応型農業機械」については、そうしたものが多く市場に出回るようになってから、情報提供のあり方などについて検討するのが妥当。
- ② 省エネ性能の確認項目
 - 省エネ性能の確認に際しては、実験室におけるモデルモードでの測定が可能な機種と、モデルモードの作成が難しく、ほ場での実作業での測定を行わざるを得ない機種が存在すると考えられる。機種ごとに柔軟に検討していくことも必要ではないか。
 - 型式等ごとに燃料消費率を確認する際、それぞれの型式等によって異なる作業能率をどのように取り扱うかが難しい問題となる。例えば、燃料消費率と作業能率を併記するなど何らかの対応が必要ではないか。
- ③ 情報提供時の表示方法
 - ユーザー側から見れば、基準となる旧型の製品と比べて何%省エネと示されると分かりやすいのではないか。基準機は各社ごとに別々の機械となっても仕方がない面もあるが、できれば他社製品と比較検討できるような指標を設定することが望ましい。
 - 基準機と比較した情報だけでなく、燃料消費量の実データもユーザーは知りたがっているのではないか。

【研究会における検討の進め方とスケジュールについて】

- 情報提供方法等を検討する技術検討会の実施に際しては、アンケート等を通じてユーザーの意見を反映するような配慮が必要である。また、技術検討会における検討状況は、随時、本研究会の委員にも連絡願いたい。

【その他】

- 経済産業省としても、他分野における省エネ事例等本件の検討に有効と考えられる情報等を有していることや日本工業規格（JIS）制度など省エネ測定方法や表示の普及に有効なツールを有していることから、必要な協力を行いたいと考えている。

- (2) 第1回研究会における委員等の意見を踏まえつつ、技術検討会を開催して情報提供方策の大枠を検討した上で、10月頃に開催予定の第2回研究会において、更なる議論を進めることとなった。

また、技術検討会メンバーについては、事務局が案を作成の上、各委員の了解を得て、選定することとなった。